

国際交流センターセミナー

地域社会の国際化

地域社会におけるグローバル化の

進展を背景に、地域の国際化を推進するための
具体的なアプローチを探ります。

公立小松大学国際交流センターの取り組みや、
海外協定校との連携を通じて、

地域社会における国際交流の現状と課題を共有し、
今後の展望について議論します。



2025
6.15 日

14:00-16:00

入場
無料

タイムスケジュール

| | |
|-------|--|
| 14:00 | 開会あいさつ 小松市長 宮橋 勝栄 |
| 14:05 | 講演① 「公立小松大学の海外研修や ボランティア活動を通じた国際交流」 公立小松大学 理事・副学長・国際交流センター長 志村 恵 |
| 14:35 | 講演② 「アメリカの田舎に行ってみよう！」 オースティン・ピー州立大学 教授 広野 達氏 |
| 15:05 | 講演③ 「大学国際化のアップデートーその変遷と未来ー」 公立小松大学サステナブルシステム科学研究科 グローバル文化学専攻博士前期課程2年/ 国際交流センター・総務課職員 上林 あい |
| 15:35 | 質疑応答 ファシリテーター 公立小松大学 学長補佐 小原 文衛 |
| 15:55 | 閉会あいさつ 公立小松大学 学長 山本 博 |

会場

石川県小松市
團十郎芸術劇場うらら大ホール

石川県小松市土居原町710番地

申込

申込フォームはこちら
<https://forms.office.com/r/WD4WWd3gYc>



講演者紹介・講演要旨

ファシリテーター
公立小松大学 学長補佐
こはら ぶんえい
小原 文衛



講演 1

公立小松大学の海外研修やボランティア活動を通じた国際交流

公立小松大学が提供しているさまざまな海外研修・語学研修を紹介するほか、小松市内で行っている外国ルーツの子どもたちに対する「子どもスタディ・サポート in こまつ」の活動を通じた国際交流についてお話しします。



しむら めぐみ
志村 恵

公立小松大学 理事・副学長・
国際交流センター長

1957年、高知県に生まれる（だから今でも北陸の天気が苦手です）。名古屋大学とドイツ・ミュンヘン大学に学ぶ。2024年4月から公立小松大学に勤務。専門は、ドイツ学、キリスト教学、多胎家庭支援研究。現在は、外国をルーツに持つ市民によるピア・サポート活動や多胎家庭のピア・サポートの実践的研究をしています。

講演 2

アメリカの田舎に行ってみよう！

皆さんはアメリカ旅行というとどんな場所を思い浮かべますか？ニューヨークの摩天楼でしょうか？ロサンゼルス遊園地や野球観戦でしょうか？グランドキャニオンの大自然でしょうか？私もこのような観光地はお勧めいたしますが、本当のお勧めは「アメリカの田舎暮らし体験」です。例えば1週間のNY訪問ならば、そのうち2泊はNYの郊外に滞在して欲しいのです。郊外のホテルに泊まってスーパーで買い物をして自炊する。田舎暮らし体験で日本のニュースよりもアメリカの今を深く理解できますよ。例えばなぜトランプ大統領なのか？とか。



ひろの たつし
広野 達氏

オースティン・ビー州立大学 教授

研究分野は、スピリチュアリティとソーシャルワーク、自殺予防、自然災害後の希望回復における宗教指導者の役割。アメリカと日本の聖職者の視点を比較し、異なる文化の下で災害時の対応がどのように異なるかについての研究も行っている。

講演 3

大学国際化のアップデートーその変遷と未来ー

「グローバル化」と「国際化」——近年よく耳にするこれらの言葉ですが、その違いをご存じでしょうか？特に高等教育の現場では、この二つの概念はしばしば混同されがちです。本講演では、「大学の国際化とは何か？」という根本的な問いに立ち返りながら、研究者としての視点からその歴史的・理論的背景を紐解きます。さらに、大学職員として実際に携わってきた本学での取り組みも交えながら、大学の国際化の“現在地”と、これから目指す“未来”について、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



かみばやし
上林 あい

公立小松大学サステナブルシステム科学研究科グローバル文化学専攻博士前期課程2年/国際交流センター・総務課職員

専門分野は高等教育学。金沢大学人間社会学域国際学類学士課程卒業。大学職員として、大学の国際交流に携わるとともに、公立小松大学大学院にて、高等教育国際化の研究を行う。

問い合わせ先

公立大学法人公立小松大学 国際交流センター（中央キャンパス）

〒923-0921 小松市土居原町 10-10 global@komatsu-u.ac.jp TEL: 0761-23-6600